

発行者：

中央大学理工学部人間総合理工学科  
環境デザイン研究室  
〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-  
27 2号館 2811・2817号室

協力：RISTEX

社会技術研究開発センター

### おみこし まち開きに向けて、こどもたちが御神輿をつくりました！

2015年4月26日（日）、玉浦公民館で、お祭りワークショップの第2回が開催されました。

4月12日（日）の第1回ワークショップで考えた「お神輿」のテーマは、小学生チームが「エンジェル」、中学生チームが「Love & Peace」、高校生チームが「ブルー」でした。今回のお神輿づくりのワークショップに向けて、地元の会社の協力を得て、金属加工のときに発生する端材、製紙の出荷時に使用する紙管など、さまざまな材料を提供していただきました。また、こどもたち自身も、玉浦の海岸から流木やブイ（いかだを浮かせるフロート）を集めてきました。

14時から始まったお神輿づくりでは、こどもたちの自由な発想でユニークなお神輿ができあがりました。こどもたちのサポート役として、仙台市在住のアーティスト門脇さんと地元の造園業を営む菊地さんに、お神輿の担ぎ棒を組み立てていただき、福島県南相馬市の伊勢大御神の神主の森さんに、お神輿は何のためにあるのか、必要なものはなにか教えていただきました。また、中央大学理工学部人間総合理工学科の学生3名も、こどもたちと一緒に神輿づくりを行いました。

お神輿ができあがると、玉浦西地区の大樹公園に移動し、お披露目を行いました。津波から逃れた相野釜の法被をお借りし、蒲崎の方にお神輿の担ぎ方や、「ワッショイ、ワッショイ」のかけ声について教えていただいたあと、こどもたち、そして住民が一緒になって、お神輿を担ぎました。

7月19日に玉浦西地区の「まち開き」イベントが予定されています。これらのお神輿は、この「まち開き」の時にこどもたちによって担がれ、多くの亡くなられた方の御霊を乗せて新しい玉浦西のまちを見ていただけるように、そして多くの支援に関わられた方への感謝を表現するために作成されました。



小学生チーム「エンジェル」



中学生チーム「Love & Peace」



高校生チーム「ブルー」



玉浦西地区大樹公園でのお披露目



中央大学人間総合理工学科の学生も子供たちと一緒に参加しました。